



映画で地域おこし!河和田の魅力発信

# 「HANA~ひとつ。」今夏公開!



左から、市川徹監督、南沢奈央さん、牧野百男市長、  
紘毅さん、吉田登喜男丹南CATV社長。製作発表会にて  
「HANA~ひとつ。」をPR

南沢さんは「地域の魅力を伝え、海や時を超えて愛される映画にしたい」、紘毅さんは「鯖江に行ってみたくて思われる映画にしたい」と笑顔を見せていました。牧野市長も「ユネスコ世界文化遺産を目指す越前漆器を、映画を通して広めてほしい」と期待を語りました。

撮影は韓国や丹南地域で行われ、メインロケ地となった河和田地区では、住民も参加して撮影され無事終了しました。完成予定は7月で、横浜市劇場を皮切りに全国各地で上映されます。

皆さんご期待ください。

河和田地区と韓国・扶余郡を舞台にした映画「HANA~ひとつ。」の製作発表会が、4月25日市役所で開かれました。主演の南沢奈央さんと紘毅さん、市川徹監督が撮影への意気込みなどを語りました。映画は丹南ケーブルテレビが製作。ストーリーは、紘毅さん演じる漆器職人の長男で同テレビ局のカメラマンが、取材で訪れた同郡で出会う、南沢さん演じる観光課の職員にどこか懐かしさを感じ、互いにひかれ合うという純愛ストーリー。同郡は百濟最後の都といわれる歴史文化都市で、百濟から越前漆器が伝わったとされる河和田との間で過去と現代が交錯します。

「HANA」は韓国語で「一つ」を意味します。市川監督は「地元の方皆さんも出演し、地域の人がつながり新しいものが生まれれば」と話しました。南



製作発表会前日に開かれた河和田地区での交流会で、  
伝承料理を堪能する南沢奈央さん



## ふるさと散歩道

### 鯖江の近代史と歩兵第三六連隊 (七)

#### 連隊の施設 — 兵士のくらし —

兵舎が完成した当初の三六連隊は、

全国の連隊の中でも最も田舎の連隊の

一つとして知られており、新潟県の村

松・島根県の浜田とともに鯖江の連隊

は若い将校たちから赴任を敬遠されて

いました。明治四〇年代に入るまでは、

電話・電灯もなく、ろうそくやランプ

の明かりの下、不便な生活を強いられ

たといいます。

とはいえ、『天皇の料理番』で秋山

徳蔵が三六連隊で「カツレツ」と出会

った感動を伝えているように、カレー・

ハンバーグ・オムレツなどの和食・洋

食・肉食を織り交ぜた軍隊での食事は、

一般家庭の食事よりも上質であり、徴

兵で入営した兵士を喜ばせました。

また、平時の兵士たちは内務班とい

う兵営内の居住単位で起居し、射撃・

銃剣術・乗馬・野外演習などの教練を

受けたほか、軍人としての心構えを厳

しく叩き込まれました。

こうして、兵士たちは琵琶山や丸山

の樹木を利用した射撃訓練、浅水川で

行われた渡河訓練、日野山や白山での

雪中訓練などの様々な厳しい訓練を重

ね、目前に迫る日露戦争への出兵を待

ったのです。

(文化課 藤田 彩)



内務班の様子